



# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2021/05/21 改訂日: 2025/03/10 バージョン: 4.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ONE - Pure Shampoo  
製品コード : 115555612  
製品グループ : 取引製品

#### 会社情報

##### 製造業者

Brands Alliance s.r.o.

831 06

Bratislava Pri Šajbách 1

T +421244871700

[msds@brandsalliance.eu](mailto:msds@brandsalliance.eu) - [www.brandsalliance.eu](http://www.brandsalliance.eu)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	タイプ G
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
	急性毒性 (経口)	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経皮)	区分 4
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系)

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

### ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)	: 警告
危険有害性 (GHS JP)	: 皮膚に接触すると有害 (H312) 強い眼刺激 (H319) 臓器の障害のおそれ (中枢神経系) (H371) 水生生物に毒性 (H401)

注意書き (GHS JP)

安全対策

- : 蒸気、ミストを吸入しないこと。(P260)
- 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
- 環境への放出を避けること。(P273)
- 適切な保護手袋、保護眼鏡を着用すること。(P280)

応急措置

- : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
- 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

保管

廃棄

- : 施錠して保管すること。(P405)
- : 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性

- : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ラウレス硫酸ナトリウム	5.52	-	-	-	68891-38-3
ラウリル硫酸ナトリウム	2.5575	C12H25NaO4S	(2)-1679	既存化学物質	151-21-3

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
エチルヘキシル硫酸ナトリウム	2.7307	C <sub>8</sub> H <sub>18</sub> O <sub>4</sub> S.Na	(2)-1679,(2)-2840	既存化学物質	126-92-1
ヘプタン酸アリル	0.0021	C <sub>10</sub> H <sub>18</sub> O <sub>2</sub>	(2)-759	既存化学物質	142-19-8
C12-14 秒-パレス-9	0.78605	C <sub>x</sub> H <sub>y</sub> (OC <sub>2</sub> H <sub>4</sub> ) <sub>n</sub> OH	-	-	84133-50-6

## 4. 応急措置

### 応急措置

応急措置 一般	： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。 ： 気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。 ： 汚染された衣類を脱ぐこと。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。 ： コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ： 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	： 眼刺激。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

### 医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 ： 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 ： 自給式呼吸器。 ： 完全防護服。

# 安全データシート

ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置
- ：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
  - ：本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
  - ：物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

### 非緊急対応者

- 保護具
- ：推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置
- ：漏出エリアを換気する。
  - ：裸火、火花禁止、禁煙。
  - ：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
  - ：皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。

### 緊急対応者

- 保護具
- ：適切な保護具を着用して作業する。
  - ：詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置
- ：不要な職員を退避させる。
  - ：安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- ：環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法
- ：漏出物を回収すること。
  - ：流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
  - ：可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- 浄化方法
- ：吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- その他の情報
- ：物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策
- ：データなし
- 安全取扱注意事項
- ：作業所の十分な換気を確保する。
  - ：粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
  - ：眼、皮膚、衣類につけないこと。
  - ：個人用保護具を着用する。

- 接触回避
- ：データなし

- 衛生対策
- ：汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
  - ：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
  - ：製品取扱い後には必ず手を洗う。

- 処理時の追加危険有害性
- ：通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

### 保管

- 安全な保管条件
- ：施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料
- ：データなし
- 技術的対策
- ：涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
- 容器包装材料
- ：製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

# 安全データシート

ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

### 保護具

個人用保護具 : 安全メガネ

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN 374-2 EN ISO 374 EN ISO 374-1

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

外観 : 液体

色 : 紫色

臭い : 果実臭

pH : 約 7.5

融点 : データなし

凝固点 : < -20 °C

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

可燃性 : データなし

蒸気圧 : データなし

相対密度 : データなし

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

溶解度 : 水に可溶。

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし

爆発限界 (vol %) : データなし

動粘性率 : データなし

粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。

化学的安定性 : 通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第 7 項参照）。

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 皮膚に接触すると有害
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

ONE - Pure Shampoo	
ATE JP (経皮)	1955.034 mg/kg BW
ラウレス硫酸ナトリウム (68891-38-3)	
LD50 経口 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ラット	≥ 2000 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性経皮毒性)
ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、1,200 mg/kg (OECD TG 401) (SIDS (2009)), 2,730 mg/kg (EHC 169 (1996)) との 2 件の報告がある。1 件が区分 4 に、1 件が区分外 (国連分類基準の区分 5) に該当するが、OECD TG 401 準拠であり、かつ LD50 値の最小値が該当する区分 4 とした。
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、約 200 mg/kg との報告 (SIDS (2009)、EHC 169 (1996)) に基づき、区分 2 とした。旧分類のデータは希釈したもののデータであったため、純品の LD 値を採用し、区分を変更した。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	GHS の定義における固体である。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	1200 mg/kg 出典 : OECD SIDS
LD50 経口	1200 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LD50 経皮 ウサギ	600 mg/kg 出典 : cal、SIDS
LD50 経皮	200 mg/kg
エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
LD50 経皮 ウサギ	6540 mg/kg 出典: NLM
ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
LD50 経口 ラット	218 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ウサギ	810 mg/kg BW 動物: ウサギ、ガイドライン: OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)、95%CL: 440-1180

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

ONE - Pure Shampoo	
pH	約 7.5

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (OECD TG 404) において、本物質 (50%) を 0.5 mL 適用した結果、紅斑及び浮腫がみられ、観察期間中 (3 日間) 持続したとの報告や (ECETOC TR66 (1995))、中等度の刺激性がみられたとの報告がある (BUA 189 (1996))。また別の報告では、本物質を 4 時間、半閉塞適用した結果、中等度から強度の刺激性がみられたとの報告があるが回復性の記載はない (SIDS (2009))。以上より、区分 2 とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激

ONE - Pure Shampoo	
pH	約 7.5

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) において、本物質 (25%水溶液) の適用により、非可逆的な影響がみられたとの報告がある (SIDS (2009))。また、別の眼刺激性試験の報告では本物質 (3%) の適用により、角膜混濁、結膜発赤、結膜浮腫などがみられたが 7 日目までに回復したとの報告がある (ECETOC TR48 (1992))。25%を適用した試験において、非可逆的な症状が観察されたことから、区分 1 とした。情報を追加し区分を見直した。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。なお、ECHA (Access on December 2013) ) には、ウサギを用いた OECD テストガイドライン 405 に準拠した試験で、刺激性なしとの結果が報告されている。この情報は List 外の情報源であるために分類に用いなかった。

呼吸器感作性 : 分類できない

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
皮膚感作性	モルモットを用いたマキシマイゼーション試験において陰性の報告がある (ECETOC TR77 (1999)、BUA 189 (1996))。また、マウスを用いた LLNA 試験において、本物質適用による陽性結果が 2 報、陰性が 1 報報告されている (SIDS (2009))。ヒトについて感作性を示すとの報告はみあたらず、SIDS (2009) 及び ECETOC TR77 (1999) は、本物質は感作性の懸念がないと結論している (SIDS (2009)、ECETOC TR77 (1999))。以上より、区分外とした。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。なお、ECHA (Access on December 2013) ) には、モルモットを用いた OECD テストガイドライン 406 に準拠した試験で陰性との結果が報告されている。この情報は List 外の情報源であるために分類に用いなかった。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により区分外が選択できなくなったため、分類できないとした。すなわち、in vivo では、マウスの優性致死試験、ラット骨髄細胞の小核試験、染色体異常試験で陰性である (SIDS (2009)、HSDB (Access on November 2015))。In vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2009)、NTP DB (Access on November 2015))。旧分類に記載された EHC の情報は確認できなかった。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo、in vitrot ともにデータはない。なお、ECHA (Access on December 2014) には、細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の記載がある。この情報は List 外の情報源であるために分類に用いなかった。

発がん性 : 分類できない

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
発がん性	本物質自体の発がん性試験報告はない。しかし、EPA は C12～C15 のアルキル硫酸塩の 2 件の試験結果から、本物質は飼料中 1.5% (15,000 ppm) の濃度で投与しても発がん性のポテンシャルを示す証拠はないとの見解を示した (EPA Final Registration (2010))。また、SIDS には C12～C15 のアルキル硫酸ナトリウム (CAS 番号: 68890-70-0) を被験物質として、ラットを用いた 2 年間混餌投与試験が同一条件で 2 回行われ、2 回の試験のいずれも高用量の 15,000 ppm (約 1,125 mg/kg/day) では雌雄ともに体重増加抑制、摂餌/摂水量減少に加え、肝臓、腎臓等に非腫瘍性病変や血液毒性がみられているが、腫瘍発生率の増加はみられなかったと記述されている (SIDS (2009))。以上、類似物質の発がん性試験結果からは、本物質も経口経路では区分外相当と考えられるが、他経路での本物質関連の発がん性情報はなく、国際機関による既存分類結果もない。したがって、本項はデータ不足のため分類できない。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
発がん性	データ不足のため分類できない。

生殖毒性 : 分類できない



# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
生殖毒性	ヒトの生殖影響に関する情報はない。実験動物では本物質を雄マウスに 10,000 ppm で 2 週間、又は 1,000 ppm で 6 週間混餌投与後、無処置雌と交配したが、受胎率に有害影響はみられず、著者らは親動物に有意な体重増加抑制を生じる用量まで投与しても、受胎能への有害影響は示されなかったと報告したとの記述がある (SIDS (2009))。妊娠ラットに本物質を妊娠 6～15 日に強制経口投与した 2 件の発生毒性試験では、母動物に死亡例が生じた 500 mg/kg/day (Wistar ラット)、及び 600 mg/kg/day (SD ラット) のいずれも胎児に有害影響はみられていない (SIDS (2009))。また、妊娠マウスの妊娠 6～15 日、妊娠ウサギの妊娠 6～18 日に最大 600 mg/kg/day を強制経口投与した試験でも、母動物に死亡例が発生した 600 mg/kg/day では総胚吸収/同腹胎児損失の頻度増加がみられたが、300 mg/kg/day では母動物にマウスで 1/20 例、ウサギで 1/13 例が死亡し、ウサギでは体重減少、下痢などがみられているが、胎児に有害影響はみられていない (SIDS (2009))。以上、マウスを用いた経口経路での受胎能への影響は雄マウス投与に対しては影響がないとの結果であるが、雌マウスに投与した場合の受胎能への影響については報告例がなく不明であり、よって本項はデータ不足のため分類できない。なお、EPA は本物質の生殖毒性については、類似物質である $\alpha$ -アルキルオレフィン硫酸塩をラットに経口投与した 2 世代生殖毒性試験結果に基づき、最高用量 285 mg/kg/day 相当量まで投与に関連した生殖毒性及び全身毒性影響を生じないとしてデータギャップを埋めた (EPA Final Registration (2010))。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
生殖毒性	データ不足のため分類できない。なお、ラットを用いた経口経路（強制）での生殖毒性スクリーニング試験（OECD TG421）で、親動物毒性（雌雄で肝臓の肉眼的病変、雌で脾臓の腫大、雌で交配前及び妊娠期間中の体重増加）がみられる用量において生殖能、児動物に影響はみられていない（ECHA（Access on December 2013））との情報がある。この情報は List 外の情報源であるために分類に用いなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ (中枢神経系)

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおけるデータはない。実験動物では、ラットの経口投与 (1,200 mg/kg bw、区分 2 相当) で下痢、自発運動低下、努力呼吸、呼吸数減少、昏睡、ウサギの経皮適用 (LD50=200 mg/kg、区分 1 相当) で振戦、強直間代性痙攣、呼吸困難が認められている (SIDS (2009))。以上より、本物質は中枢神経系に影響を与え、区分 1 (中枢神経系) とした。旧分類に記載された気道刺激性のデータは認められなかった。

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

ラウレス硫酸ナトリウム (68891-38-3)	
LOAEL (経口、ラット、90 日)	25 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408（げっ歯類における反復投与 90 日間経口毒性試験）
NOAEL (経口、ラット、90 日)	> 225 mg/kg BW/日 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 408（げっ歯類における反復投与 90 日経口毒性）

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに関する情報はない。実験動物では、ラットを用いた 4 週間混餌投与毒性試験において、区分 2 の用量である 0.5% (90 日換算 : 76.2 mg/kg/day) 以上の投与群の雌で ALT 及びアルカリホスファターゼ活性の増加、肝臓及び左側腎臓の重量増加がみられ、肝臓では肝細胞のわずかな肥大、分裂細胞の増加がみとめられた。また、区分 2 の範囲を超える用量である 1% (152.4 mg/kg/day) 以上の投与群で尿円柱、尿細管上皮細胞の空胞変性、尿細管の PAS 染色陽性物質、糸球体の萎縮がみられている (EHC 169 (1996))。以上のように、肝臓に区分 2 の範囲で影響がみられた。したがって、区分 2 (肝臓) とした。なお、旧分類では、腎臓の所見を区分 2 の範囲内として分類を実施していたが、確認した結果、区分 2 の範囲を超えていたため分類結果が変更となった。

エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
NOAEL (経口、ラット、90 日)	488 mg/kg BW 動物: ラット、ガイドライン: OECD ガイドライン 408 (げっ歯類における反復投与 90 日間経口毒性)

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	JECFA の評価において、本物質はラット 13 週間混餌投与試験及びイヌ 18 ヶ月間混餌投与試験の NOAEL が各々 500 mg/kg/day 以上及び 25 mg/kg/day 以上であり、本物質を含むアリルエステルを香料として摂取しても、ヒトで安全性の懸念はないと結論されている (JECFA TRS 868 (1997))。すなわち、ラットの知見に基づけば経口経路では区分外相当と考えられるが、他の経路での毒性情報がなく、データ不足のため分類できないとした。

誤えん有害性 : 分類できない

ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	1.7 mm <sup>2</sup> /s 温度 : '20°C 'パラメーター : '動粘度 (mm <sup>2</sup> /s) '

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に毒性。  
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に毒性  
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

ラウレス硫酸ナトリウム (68891-38-3)	
LC50 - 魚 [1]	7.1 mg/l 試験生物 (種) : Danio rerio (旧称 : Brachydanio rerio)
EC50 - 甲殻類 [1]	7.2 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna
EC50 - 甲殻類 [2]	7.4 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna
EC50 72h - 藻類 [1]	27 mg/l 試験生物 (種) : Desmodesmus subspicatus (旧称 : Scenedesmus subspicatus)

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ラウレス硫酸ナトリウム (68891-38-3)	
EC50 72h - 藻類 [2]	27.7 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧称：Scenedesmus subspicatus）
NOEC (慢性)	0.27 mg/l 試験生物（種）：Daphnia magna 期間：「21 日」
NOEC 魚 慢性	0.14 mg/l 試験生物（種）：Oncorhynchus mykiss（旧名：Salmo gairdneri）期間：「28 日」
ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
水生環境有害性 短期（急性）	甲殻類（アカルチア）の 96 時間 EC50/LC50 = 0.12 mg/L（SIDS, 2009）であることから、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急速分解性があり（14 日間での BOD 分解度＝85.0%、TOC 分解度＝99.3%（J-CHECK 2016））、甲殻類（ネコゼミジンコ）の 7 日間 NOEC (繁殖) = 0.88 mg/L（SIDS, 2009）から、区分 3 とした。
LC50 - 魚 [1]	29 mg/l 試験生物（種）：Pimephales promelas
EC50 - 甲殻類 [1]	0.12 mg/l
EC50 - 他の水生生物 [1]	11.1 mg/l 試験生物（種）：その他の水生甲殻類：Pseudosidaramosa
EC50 72h - 藻類 [1]	> 120 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧称：Scenedesmus subspicatus）
EC50 72h - 藻類 [2]	53 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧称：Scenedesmus subspicatus）
EC50 96h - 藻類 [1]	1.2 mg/l 出典：ECOTOX
NOEC 魚 慢性	≥ 1.357 mg/l 試験生物（種）：Pimephales promelas 期間：「42 日」
NOEC 甲殻類 慢性	0.88 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.6
エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
EC50 72h - 藻類 [1]	> 511 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧名：Scenedesmus subspicatus）
EC50 72h - 藻類 [2]	511 mg/l 試験生物（種）：Desmodesmus subspicatus（旧名：Scenedesmus subspicatus）
EC50 96h - 藻類 [1]	13859.488 mg/l 出典: ECOSAR
LOEC (慢性)	6.86 mg/l 試験生物（種）：オオミジンコ 期間：21 日
NOEC (慢性)	1.4 mg/l 試験生物（種）：オオミジンコ 期間：21 日
NOEC 魚 慢性	≥ 1.357 mg/l 試験生物（種）：Pimephales promelas 期間：42 日
ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
水生環境有害性 短期（急性）	データなし。
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし。
LC50 - 魚 [1]	0.117 mg/l 試験生物（種）：Danio rerio（旧称：Brachydanio rerio）
LC50 - 魚 [2]	0.13 mg/l 試験生物（種）：Pimephales promelas

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
EC50 - 甲殻類 [1]	0.89 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna
EC50 96h - 藻類 [1]	0.7 mg/l 出典: 生態学的構造活動関係

### 残留性・分解性

ONE - Pure Shampoo	
残留性・分解性	急速分解性でない
ラウレス硫酸ナトリウム (68891-38-3)	
残留性・分解性	急速分解性でない
ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
残留性・分解性	急速分解性
エチルヘキシル硫酸ナトリウム (126-92-1)	
残留性・分解性	急速分解性でない
ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
残留性・分解性	急速分解性でない
C12-14 秒-パレス-9 (84133-50-6)	
残留性・分解性	急速分解性でない

### 生体蓄積性

ONE - Pure Shampoo	
生体蓄積性	データなし
ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.6

### 土壌中の移動性

ONE - Pure Shampoo	
土壌中の移動性	データなし
ラウリル硫酸ナトリウム (151-21-3)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	1.6
ヘプタン酸アリル (142-19-8)	
土壌中の移動性	2.889 出典: 定量的構造活性相関

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。  
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

### 14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

#### 国際規制

##### 国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

##### MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

#### 国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

### 15. 適用法令

#### 国内法令

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	: 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9） ドデシル硫酸ナトリウム (5%未満) 腐食性液体（労働安全衛生規則第326条）
水質汚濁防止法	: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
消防法	: 第2類可燃性固体、引火性固体（法第2条第7項危険物別表第1・第2類） 指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4）
大気汚染防止法	: 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達）
海洋汚染防止法	: 危険物（施行令別表第1の4） 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号） 有害液体物質（Z類同等の物質）（環境省告示第148号第3号）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認）

# 安全データシート

## ONE - Pure Shampoo

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

道路法	：車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	：特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号）
水道法	：有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	：第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム（管理番号：409）（5.5%） ドデシル硫酸ナトリウム（管理番号：275）（2.6%）
労働基準法	：疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

## 16. その他の情報

**免責条項** 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。